

講義名	自己発見とキャリア開発（再履修）（木2・火6・水6・木6）		
科目区分	教養基礎		
担当教員	藤井 啓吾		
開講期・曜日・時限	前期 火曜日 6時限 / 前期 水曜日 6時限 / 前期 木曜日 2時限 / 前期 木曜日 6時限		
	2018年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2018年度 人間社会学部 観光学科 / 2018年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2018年度 経済学部 経済情報学科 / 2018年度 経済学部 経済学科 / 2018年度 商学部 マーケティング学科 / 2018年度 商学部 経営学科 / 2017年度 人間社会学部 人間健康学科 / 2017年度 人間社会学部 観光学科 / 2017年度 人間社会学部 人間社会学科 / 2017年度 経済学部 経済情報学科 / 2017年度 経済学部 経済学科 /		
履修開始年次	1年生	単位数	8
		講義コード	42007

主題と概要

本学は4年間の学びを通して、実社会の様々な分野で活躍する「ネアカ・のびのび・へこたれず」の精神を持つビジネスパーソン(社会人)の育成をめざしている。本科目を含む初年次教育では、4年間の学びの「礎」を築く。そのために1年前期に様々な科目を展開し、後期の本格的な学びにつなげる。本科目は、初年次教育の中核となる8単位の科目で、様々な体験を通じた気づきを背景に、将来を見据えた「4年間の学びの道筋(キャリアビジョン)」を形成することを旨とする。

以上が本科目の主題であり、その性質上、本来であれば1年前期に履修することが何を置いても望まれる科目である。しかしながら、様々な事情からこれを果たすことができなかった学生もわずかながら存在する。本科目は必修科目であり、この科目の単位を修得しない限り、本学を卒業することはできないことから、本年度については、新入生のクラスとは別に、過年度生のための再履修クラスを設けることとした。

1年次にこの科目を履修することができなかった学生は、この再履修クラスでの活動に真摯に取り組み、この科目本来の目標を達成するようにしていただきたい。

到達目標

本科目の到達目標は次のとおりである。

- 自分自身の将来の夢や目標を持っている
- 将来の夢や目標を見据えた「4年間の学びの道筋(キャリアビジョン)」を形成する

これらの達成のために7つを目標とする。

- 基礎能力の現状を知り、その必要性に気づき、向上させる
- 職に関する様々な知識や気づきを得る
- 様々な場面(大学の講義・資格取得・課外活動など)で学ぶことの大切さに気づく
- 様々な場面での学びで得られる知識・技能・態度と、職との関連性について気づく
- 自分の将来の目標「なりたい自分」を発見する
- 大学での学び方を知り、身につける
- 本学の学びの特徴を知る

提出課題

プログラムごとに、さまざまなワークシート、振り返りシートなどを作成しそれを提出する。宿題を提出する場合もある。

評価の基準

科目に対する取り組み姿勢と科目の目的達成度により成績を判定する。具体的には、遅刻をせず出席して真面目に積極的にそれぞれの課題に取り組んでいるかどうか、提出物の内容が充実しており、抜けなく提出しているかどうか、キャリアビジョンの作成に向けて真摯に取り組んだかどうか、などが重要となる。

履修にあたっての注意・助言他

この科目は、本来は、学外での活動や学外から多くの人を招いて交流するなどの体験型の学修を中心に据えた科目である。残念ながら、再履修クラスではそれと同様の体験型のプログラムを用意することはできない。このクラスの受講生は、このことを心に留め、自ら積極的に学外に足を運び、また自らの想像力を発揮することにより、それらに代替する学修経験を積むことに努めてほしい。

教科書

.使用しない。

プリント資料及び参考文献

資料は各プログラムごとに配布する。多数の資料があるので、きちんと整理して保管すること。

授業計画

次のようなテーマで授業を進行する。

- 1 週目 今の自分を振り返る
- 2 週目～3 週目 コミュニケーションを学ぶ
- 4 週目～8 週目 職について学ぶ
- 9 週目～15 週目 キャンパスキャリアを設計する

授業にあたっては、可能な限り、本科目1年生クラスで使用される教材やワークシートを活用し、それと同等の学修経験を積むことができるよう努める。

予習・復習

この科目は、8単位の科目であり、本来、授業における120時間の学修と、240時間にわたる予習・復習が必要である。授業内容に即して、これらの学修時間を確保するために必要な、実地調査課題、レポート課題などを課すので、真摯に取り組み、所定の期日までに提出すること。

備考